

令和4年度 技術講演会 プログラム

司会者 埼玉県地質調査業協会 技術委員 野入久幸

13:15～13:25 会長挨拶 埼玉県地質調査業協会 会長 越智勝行

13:25～14:40 演題 1：土の締固め管理 - 現状・新たな展開・展望

講師：東京大学・東京理科大学 名誉教授 龍岡 文夫

講演要旨：地盤工学会関東支部では、「土構造物の要求性能の実現を目指した盛土締固め管理の合理化に関する研究委員会」の成果として、2022年、標記報告書を出版した。委員会には、官公庁・建設業・地質調査業・コンサルタント・大学等の第一線の技術者・研究者が参加し、道路、鉄道、宅地、ダム、ため池、堤防など多様な盛土の要求性能の効果的・効率的な実現を目指す締固めの管理法に関して網羅的な調査・研究を行った。本講演では、本課題の現状と課題、近年の新たな展開、展望を説明する。

14:40～15:55 演題 2：盛土の現場締固めと品質管理 - 最新の知見と今後の展望-

講師：前田建設工業株式会社 ICI 総合センター 石黒 健

講演要旨：龍岡名誉教授による土の締固め管理に関する基調講演を受け、盛土の現場締固めと品質管理に関する最新の話題を提供する。現場締固めの実務における幾つかの技術的課題、要求性能と管理基準の関係、室内締固めと現場締固めの関係、現場転圧地盤の工学的性質を評価するための原位置計測手法等について、実現場の事例を中心に説明する。最後に、ICT 土工やDX等、現場締固め管理の最前線の試みと今後の展望について述べる。

15:55～16:05 休憩

16:05～16:35 演題 3：「宅地造成及び特定盛土等規制法」（盛土規制法）について

講師：埼玉県都市整備部都市計画課 鳥海 靖弘

講演要旨：令和3年7月、静岡県熱海市で大雨に伴って盛土が崩落し、大規模な土石流災害が発生したことを契機とし、盛土等による災害から国民の生命・身体を守る観点から、盛土等を行う土地の用途やその目的にかかわらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する「宅地造成等規制法の一部を改正する法律」（通称「盛土規制法」）が、国土交通省、農林水産省による共管法として、令和4年5月27日に公布された。本講演では、盛土規制法の概要について、公表されている資料を基に説明する。

16:35～16:40 閉会挨拶 埼玉県地質調査業協会 技術委員長 対馬 純一